

「がん」を共に学ぶ学生交流会の第2弾を開催します ～横浜市立大学と玉川大学の学生が大学や専門分野の枠を越えて交流～

横浜市は、横浜市立大学と締結した、若年層の医療・健康に関する理解促進を目的とした連携協定に基づき、大学・都市パートナーシップ協議会※に参加している大学と連携しながら大学生同士が「がん」について学び合う取組を実施しています。

第2弾となる今回は、横浜市立大学医学部の学生と玉川大学教育学部の学生が、大学や専門分野の枠を越えて交流し、「がん」をテーマに学び合う学生交流会を開催します。

将来、医療人材と教育人材として社会を担う学生たちが、がんに関する知識やその伝え方について対話を重ねることで、医療を学ぶ学生は専門知識を分かりやすく伝える力を磨き、教育を学ぶ学生はがんへの理解を深めます。分野を越えた学び合いを通じて、若い世代のがんへの理解促進と新たなつながりの創出を目指します。

※大学・都市パートナーシップ協議会：市内の大学が豊富な知的資源などの蓄積を活かし、市民・企業・行政と連携して活力と魅力溢れる都市を実現するため、市内大学学長・理事長と横浜市長の意見交換の場

1 実施概要

日 時：令和8年10月29日（木）18時30分から20時00分まで

場 所：玉川大学（東京都町田市玉川学園6-1-1）

参加者：（1）横浜市立大学の学生団体 YDC（※1）

医学部医学科1年生 3名、3年生 1名、6年生 3名 計7名

（2）玉川大学教育学部教育学科（※2）3年生 6名、4年生 2名 計8名

※1 YDC（Yokohama Dream Catchers）

医学部医学科・看護学科の学生が主体となり、市民に向けた正しい医療知識の提供を目的として発足した学生団体で、現在約50名が在籍している。若者を中心とした医療知識の普及活動を積極的に展開し、特に「身近な医療情報をわかりやすく伝える取組」が高く評価され、令和7年に「上手な医療のかかり方アワード」で厚生労働大臣賞（最優秀賞）を受賞している。

※2 玉川大学教育学部教育学科

玉川大学は、東京都町田市、横浜市青葉区、川崎市麻生区の3つの自治体にまたがる約61万㎡のキャンパスを有し、8つの学部で約6,000人の学生が学ぶ総合大学。教育学部教育学科は、玉川大学の全人教育の理念のもと、人間力・社会力・専門力を備えた教育者の育成を目指している。教育の理論と実践を往還する学びを通して、教育現場や地域社会に貢献できる人材を養成している。今回参加する学生は全員が教員を志しており、「がん」に関する正しい知識や理解を深めるとともに、将来どのように子どもたちへ伝えていくかを学び合うため、本交流会に参加する。

2 実施内容

（1）第1部 YDCの学生による基礎知識の紹介

医療を学ぶ学生が、自らの学びを生かしながら、がんの現状や予防、検診の重要性などについて分かりやすく紹介します。正しい知識を身に付けるとともに、がん患者への理解を深める機会とします。

- ・がんの現状（罹患状況・死亡状況）
- ・がんの予防と生活習慣
- ・がん検診の重要性
- ・がん患者の気持ちや生活への理解 など

裏面あり



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



(2) 第2部 意見交換

「若い世代にがんへの関心を持ってもらうためにはどうすればよいか」などをテーマに、学生同士で意見交換を行います。また、第1部で学んだ内容を踏まえ、がんに対するイメージや疑問、学びや気づきを共有しながら、がんを身近な問題として考えます。

- ・若い世代のがんへの関心向上に向けた取組
- ・教師として児童・生徒へがんについてどのように伝えるか
- ・学びや気づきの共有 など

3 取材

当日取材を希望される場合は、10月27日（火）15時までにお問合せ先にご連絡ください。

(参考) 連携協定

協定名称：若年層への教育的取組等を通じた医療・健康に関する市民理解促進のための連携協定

締結日：令和8年4月1日

概要：若年層への教育的取組を通じて医療・健康に関する市民理解の促進を図るため、横浜市と横浜市立大学が連携して啓発活動や学習支援等を実施する協定

【参考：第1弾の取組】

日時：令和8年10月3日（土）

参加者：横浜市立大学の学生団体 YDC 医学部医学科5年生 2名、医学部看護学科2年生 2名
関東学院大学教育学部津村ゼミナール 津村麻紀 専任講師、教育学部3年生 5名

第1部では、横浜市のがん対策やがんを取り巻く現状について学ぶ講義を実施し、学生ががんに関する基礎知識や患者支援について理解を深めました。

第2部ではグループワークを行い、がん患者やその家族への理解を深めるために必要な取組や、若い世代への効果的ながん教育・情報発信の方法などについて活発な意見交換が行われました。

参加後のアンケートでは、「医学の現場で不安なことや子どもと関わる上で気になることを実際に聞いたので、それを受けて教育の立場から何ができるかを考えていきたい。」「子どもたちに教える視点でのゼミ活動だったため、医学の視点から話を聞くことができて新鮮だった。」などの声が寄せられました。

【当日の様子】



お問合せ先

がん・疾病対策課医務担当課長 紺野 Tel 045-671-4815



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

